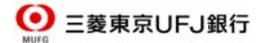


イタリア経済・金融概況 (四半期報)

Main Economic & Financial Indicators (ITALY)



経済調査室

Economic Research Office

(大幸 雅代 masayo_taiko@mufg.jp)

概況

イタリア経済は依然として後退局面にある。2013年第1四半期の実質GDP成長率は前期比▲0.6%と、前期の同▲0.9%からマイナス幅は縮小したものの、7期連続のマイナス成長となった。需要項目別にみると、企業の設備投資に対する慎重姿勢もあり、総固定資本形成が最大の下押し要因となった。また、個人消費も9期連続で減少した。月次指標をみると、企業の景況感悪化には歯止めがかかりつつあるが、小売売上は一段と悪化しているほか、鉱工業生産はマイナスが続いている。

イタリアでは2月の総選挙以降、政局の混迷が続いていたが、4月末に漸く新政権が発足し、レッタ新首相は、財政規律を遵守しつつ、経済成長と雇用促進のため、付加価値税 (VAT) 引き上げの延長や、給与税の引き下げなど、各種減税を実施する方針を打ち出した。同首相はEUが経済成長と雇用促進策を最優先で実施する必要があると認識している。また、欧州委員会はイタリアに対してこれまでの財政再建努力を評価し、財政政策の監視を解除した。今後は成長促進策と財政規律のバランスが模索されることになる。

雇用・物価・貿易

●**雇用**：財政緊縮による内需の落ち込み等から、イタリアの雇用情勢は悪化が続いている。第1四半期の失業率は11.9%と、前期の11.4%から一段と上昇した。EU基準の失業率は4月も12.0%と、悪化に歯止めがかかっていない。

●**物価**：5月の消費者物価上昇率 (HICP) は前年比1.3%と、大幅に鈍化している。雇用環境の悪化や貸出の低迷が、引き続きインフレ圧力を抑制している。

●**貿易**：第1四半期の輸出は前年比▲0.7%とマイナスに転じたものの、輸入が財政緊縮などに伴う内需の低迷から同▲7.4%と大幅に減少したため、貿易収支は27.2億ユーロの黒字を確保した。今後については、イタリアの主要輸出相手国であるドイツの景況感が持ち直してきており、輸出の回復が期待できる。

金融・為替情勢

●**金融政策**：ECBは5月に利下げも、一旦様子見の姿勢

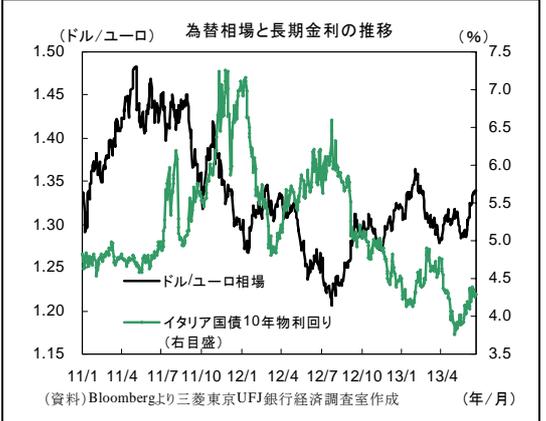
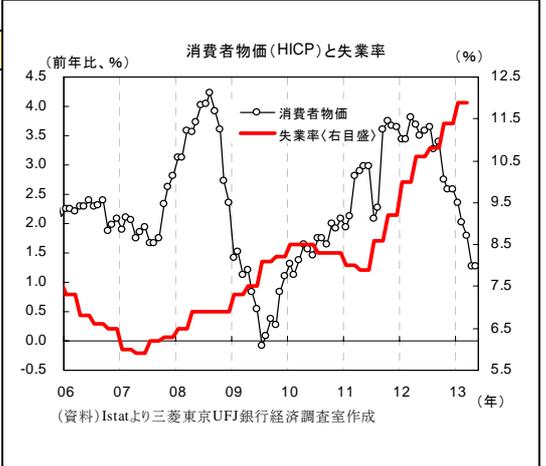
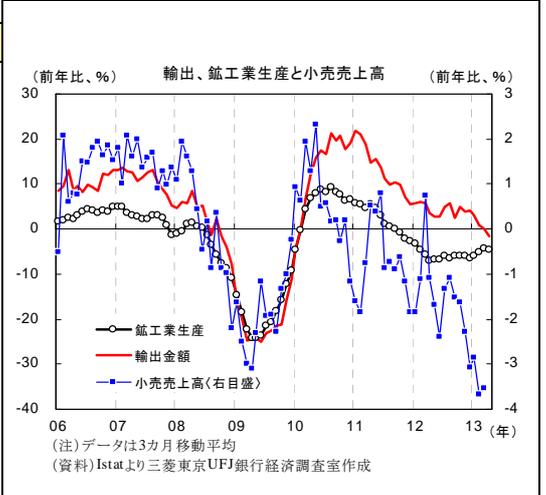
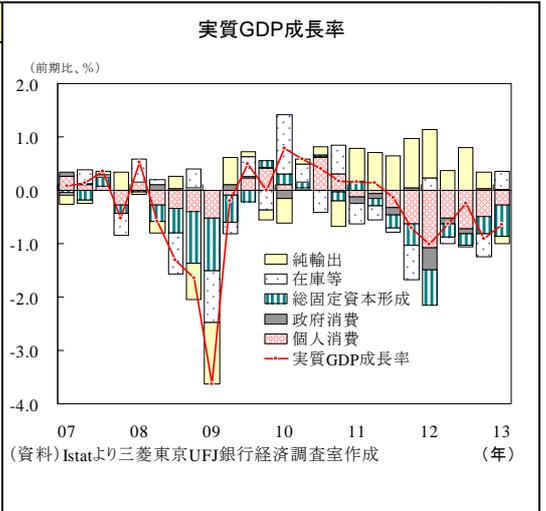
欧州中央銀行 (ECB) は5月、インフレ率の鈍化や経済指標の改善の遅れを受けて政策金利を過去最低の0.50%に引き下げ、追加利下げにも含みを残した。また、国債購入プログラム (OMT) の整備により、危機対応の枠組みが一層強化されたため、金融市場は全体として落ち着きを取り戻している。しかし、ECBの超低金利政策が周縁国を中心とする中小企業に十分浸透しないことが引き続き問題となっている。当初ECBは自ら中小企業の資金繰り支援に乗り出す考えを示していたが、6月理事会では政策金利を据え置くとともに、中小企業支援姿勢をトーンダウンした。

●**長期金利**：利下げ観測から低下の後、米経済の改善につられ上昇

イタリア国債10年物の利回りは、5月のECB利下げ観測を受けて大幅に低下し、利下げ直後は3.76%と、2010年10月以来の低水準をつけた。その後は米国経済の改善などにつられて上昇し、足元は4%前半で推移している。

●**為替相場**：ECB追加緩和観測の後退から上昇も、上値は限定的

ユーロ相場は5月のECB利下げ観測に伴い下落し、一時は1ユーロ=1.28ドルまで下げた。しかし、6月のECB理事会で政策金利が据え置かれ、ドラギ総裁から追加緩和に対する強い示唆がなかったことなどから上昇に転じた。以降も、特段の売り材料に乏しく、足元は同1.33ドル台の高水準で推移している。もっとも、ユーロ圏経済は引き続き後退局面にあり、回復の兆しはまだ弱いほか、物価上昇圧力も鈍化しているため、ユーロの上値は限定的とみられる。



イタリア経済・金融概況（四半期報）

1. 年、四半期

As of Jun 19, 2013

	2010	2011	2012	12/1Q	2Q	3Q	4Q	13/1Q
実質GDP成長率 (前期比、%) *				▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 0.6
(前年比、%) *	1.7	0.5	▲ 2.4	▲ 1.7	▲ 2.5	▲ 2.6	▲ 2.8	▲ 2.4
鉱工業生産指数 (前期比、%) *				▲ 2.7	▲ 1.2	▲ 0.5	▲ 2.3	▲ 0.5
(前年比、%)	6.7	1.1	▲ 6.5	▲ 6.4	▲ 7.3	▲ 5.1	▲ 7.0	▲ 4.3
鉱工業受注指数(名目値) (前期比、%) *				▲ 2.3	▲ 1.2	1.3	▲ 3.6	▲ 3.2
(前年比、%)	13.8	5.0	▲ 7.5	▲ 8.7	▲ 9.7	▲ 6.2	▲ 4.7	▲ 7.3
企業景況感指数 (2000年=100) *	98.3	98.8	88.8	90.9	88.3	87.7	88.4	88.6
小売売上高指数(名目値) (前期比、%) *				0.1	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 1.1	▲ 0.9
(前年比、%)	0.2	▲ 0.8	▲ 1.7	0.7	▲ 2.5	▲ 1.6	▲ 3.1	▲ 3.5
新車登録台数 (年率換算、千台)	1,962	1,750	1,403	1,631	1,630	1,104	1,248	1,423
(前年比、%)	▲ 9.2	▲ 10.8	▲ 19.8	▲ 20.8	▲ 18.5	▲ 22.6	▲ 17.6	▲ 12.8
消費者信頼感指数 (1980年=100) *	102.7	98.4	88.2	93.9	86.9	86.2	85.6	85.3
失業率 (%) *	8.4	8.4	10.7	10.0	10.6	10.8	11.4	11.9
時間当たり協約賃金 (2000年Q4=100)	99.4	101.1	102.6	102.2	102.5	102.7	103.1	103.6
(前年比、%)	2.2	1.7	1.5	1.4	1.4	1.5	1.7	1.4
消費者物価指数(NIC) (1995年=100)	100.0	102.8	105.9	104.8	105.9	106.4	106.4	106.8
(前年比、%)	1.5	2.8	3.0	3.3	3.3	3.2	2.4	1.9
消費者物価指数(HICP) (2005年=100)	110.6	113.8	117.5	115.3	118.4	117.3	119.1	117.7
(前年比、%)	1.7	2.9	3.3	3.6	3.6	3.4	2.6	2.1
生産者物価指数 (2000年=100)	100.0	104.7	108.5	107.6	108.5	109.4	108.5	107.9
(前年比、%)	3.0	4.7	3.6	4.6	3.8	3.6	2.5	0.3
輸出金額(FOB) (億ユーロ)	3,373	3,759	3,897	953	1,000	946	998	946
(前年比、%)	15.6	11.4	3.7	5.7	2.8	2.2	4.1	▲ 0.7
輸入金額(CIF) (億ユーロ)	3,674	4,014	3,788	993	966	899	930	919
(前年比、%)	23.4	9.3	▲ 5.6	▲ 4.3	▲ 7.4	▲ 6.4	▲ 4.4	▲ 7.4
貿易収支 (億ユーロ)	▲ 300.4	▲ 255.2	109.7	▲ 39.8	34.0	46.6	68.9	27.2
経常収支 (億ユーロ)	▲ 545.2	▲ 482.6	▲ 84.3	▲ 134.4	▲ 5.5	7.3	48.4	▲ 41.8
マネーサプライ(M3) (前年比、%)	▲ 6.1	▲ 1.1	3.8	1.0	0.9	3.0	3.8	4.1
居住者向け銀行貸出残高 (前年比、%)	▲ 2.6	2.8	▲ 1.1	1.1	0.9	0.3	▲ 1.1	▲ 0.7
政策金利(リファイナンス金利) (期末値、%)	2.25	2.25	2.25	1.00	1.00	0.75	0.75	0.75
ユーロ金利(3カ月物) (期中平均、%)	0.81	1.39	0.57	1.04	0.69	0.36	0.20	0.21
伊国債利回り(10年物) (期中平均、%)	4.05	5.35	5.47	5.69	5.70	5.70	4.78	4.47
ドル/ユーロ為替相場 (期中平均、%)	1.327	1.393	1.286	1.312	1.283	1.251	1.298	1.320
円/ユーロ為替相場 (期中平均、%)	116.36	111.01	102.70	104.16	102.79	98.35	105.45	121.76
FTSE MIB株価指数 (期末値)	20,173	15,090	16,273	15,980	14,274	15,096	16,273	15,339

(注) *印は季節調整済、鉱工業生産(前年比)は営業日数調整済。1ユーロ=1936.27リラ。

(資料) Bollettino Mensile di Statistica(ISTAT)、Bollettino Economico(Banca d'Italia)等

イタリア経済・金融概況（四半期報）

2. 月次

As of Jun 19, 2013

	11	12	13/1	2	3	4	5
実質GDP成長率 (前期比、%) * (前年比、%) *	四半期データのみ						
鉱工業生産指数 (前月比、%) * (前年比、%)	▲ 1.1 ▲ 7.8	▲ 0.2 ▲ 7.5	0.9 ▲ 3.4	▲ 0.9 ▲ 4.0	▲ 0.9 ▲ 5.3	▲ 0.3 ▲ 4.6	- -
鉱工業受注指数(名目値) (前月比、%) * (前年比、%)	▲ 1.2 ▲ 6.1	▲ 0.6 ▲ 9.0	▲ 1.4 ▲ 3.3	▲ 2.5 ▲ 7.9	1.6 ▲ 10.0	- -	- -
企業景況感指数 (2000年=100) *	88.5	89.0	88.3	88.5	88.9	87.9	88.5
小売売上高指数(名目値) (前月比、%) * (前年比、%)	0.0 ▲ 2.4	▲ 0.2 ▲ 3.4	▲ 0.5 ▲ 2.8	▲ 0.2 ▲ 4.8	▲ 0.3 ▲ 3.0	- -	- -
新車登録台数 (年率換算、千台) (前年比、%)	1,285 ▲ 19.7	1,050 ▲ 21.8	1,369 ▲ 17.2	1,307 ▲ 17.0	1,593 ▲ 4.4	1,400 ▲ 10.5	1,634 ▲ 8.0
消費者信頼感指数 (1980年=100) *	84.9	85.8	84.7	86.0	85.3	86.3	85.9
失業率 (%) *	四半期データのみ						
時間当たり協約賃金 (2000年Q4=100) (前年比、%)	103.1 1.7	103.1 1.7	103.6 1.5	103.6 1.4	103.6 1.4	103.9 1.4	- -
消費者物価指数(NIC) (1995年=100) (前年比、%)	106.3 2.5	106.5 2.3	106.7 2.2	106.8 1.9	107.0 1.6	107.0 1.1	107.0 1.1
消費者物価指数(HICP) (2005年=100) (前年比、%)	118.9 2.6	119.3 2.6	116.9 2.4	116.7 2.0	119.4 1.8	119.8 1.3	119.8 1.3
生産者物価指数 (2000年=100) (前年比、%)	108.5 2.4	108.3 2.1	107.8 0.7	107.9 0.3	107.9 ▲ 0.1	107.5 ▲ 1.0	- -
輸出金額(FOB) (億ユーロ) (前年比、%)	335.9 3.6	302.5 ▲ 3.6	298.2 8.7	308.9 ▲ 2.8	338.9 ▲ 6.0	318.7 4.4	- -
輸入金額(CIF) (億ユーロ) (前年比、%)	312.3 ▲ 8.2	281.5 ▲ 6.0	314.4 ▲ 1.8	298.0 ▲ 9.7	306.5 ▲ 10.6	299.6 ▲ 2.6	- -
貿易収支 (億ユーロ)	23.6	21.1	▲ 16.1	10.9	32.4	19.1	-
経常収支 (億ユーロ)	1.3	2.2	▲ 4.5	▲ 1.6	1.9	-	-
マネーサプライ(M3) (前年比、%)	3.9	3.8	4.3	5.1	4.1	4.2	-
居住者向け銀行貸出残高 (前年比、%)	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 1.1	0.3	▲ 0.7	▲ 1.1	-
政策金利(リファイナンス金利) (月末値、%)	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.50
ユーロ金利(3カ月物) (月中平均、%)	0.19	0.19	0.21	0.22	0.21	0.21	0.20
伊国債利回り(10年物) (月中平均、%)	4.85	4.53	4.23	4.52	4.67	4.27	3.97
ドル/ユーロ為替相場 (月中平均、%)	1.284	1.313	1.330	1.334	1.296	1.303	1.298
円/ユーロ為替相場 (月中平均、%)	104.07	110.16	118.53	124.23	122.93	127.35	131.05
FTSE MIB株価指数 (月末値)	15,808	16,273	17,439	15,921	15,339	16,768	17,214

(注) *印は季節調整済、鉱工業生産(前年比)は営業日数調整済。1ユーロ=1936.27リラ。

(資料) Bollettino Mensile di Statistica(ISTAT)、Bollettino Economico(Banca d'Italia)等

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませよう、宜しく願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。